

道の駅いぶすき再整備における公募設置管理制度（Park-PFI）導入に関する マーケットサウンディング調査（令和7年度1回目）の結果概要

公募設置管理制度（Park-PFI）を活用した道の駅いぶすきの再整備事業において、市場性の有無や、民間事業者がより参加しやすい公募条件などを把握・整理するために、民間事業者の皆様から様々な提案や意見をお聞きするマーケットサウンディング調査を実施しました。

本調査の結果をとりまとめましたので、その概要を公表します。

1 実施概要

(1) 調査対象

道の駅いぶすき（指宿市小牧 52 番地 4）

(2) 実施状況

実施項目	実施スケジュール	参加事業者数
個別対話	令和7年4月上旬～8月下旬	10 事業者 (市内 1 社, 県内 3 社, 県外 6 社)

2 結果概要

個別対話を行った事業者から以下のような意見がありました。

- ・ Park-PFI の活用による整備は、民間事業者にとって投資費用の回収の面など負担が大きい。公募対象公園施設（商業施設）の整備は、可能であれば PPP（BT0 方式等）での整備を検討していただきたい。
- ・ 仮に、Park-PFI を導入する場合は、市で公募対象公園施設の費用を負担したり、補助金等の市の支援を手厚くしてほしい。一定の支援があれば、参入の余地がある。
- ・ 令和9年度以降の整備スケジュールを勘案すると、公募対象公園施設の建設中に彩花菜館を継続営業することは、工事スペースの確保や、道の駅利用者の安全面などから、非常に難しいと思われる。

その他、道の駅としての機能や再整備の手法等に対して、さまざまなアイデアやご提言をいただきました。

3 今後の予定

今回いただいたご提案やご意見を参考に、市としての整備方針案をとりまとめ、令和7年10月以降に、2回目のサウンディング調査を実施する予定です。